

事業名：固定資產業務における家屋異動判読効率化

事業者名：株式会社パスコ

1. ソリューションの開発・実証内容

【1】衛星画像を使用した家屋異動判読および課題整理



方針：過抽出気味にチューニングして抽出漏れを極力回避（再現率重視）

結果：精度比較「パターンA」<「パターンB」≒「パターンC」

衛星画像×超解像処理により9割程度の精度で異動箇所を検出

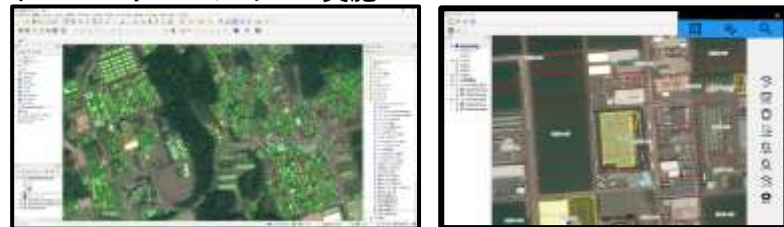
2. 事業化に向けての想定スケジュール

【2】実用化へ向けた活用案の検討および効果の検証

現地調査前の先行判読および情報提供：



デモンストレーションの実施：



ヒアリング結果：

- 異動箇所の位置情報が明確であるため**机上確認作業の効率化**が図れた。
- 優先度マップは新たに**調査担当地区の割り当てを決める場合に活用**できそう。
- 現地調査支援ツール等でAI判読結果を反映させた家屋図があれば**労力軽減が期待**できそう。

分野（あてはまるものに○）

農業、漁業、林業、資源探査、環境管理、
インフラ管理、違法事業管理、測量・地図、建設・都市計画、災害対応、保険、スポーツ、その他（固定資産）

3. 利用した衛星データ

Pleiades画像×4シーン2時期

(4-band/パンシャープン処理/8bit/オルソ済み)

撮影日	入射角(°)	雲量(%)
2023/07/04	14.7	0.9
2023/07/04	19.2	1.5
2022/10/28	25.4	0.3
2022/10/28	29.5	1.2

4. 課題（技術および事業化について）

【技術】2時期画像の観測条件の違いに伴う誤判読の低減

解析手法の改良案

- ・画像補正等による倒れ込みおよび影等の軽減
- ・視認性の違いにロバストなAIモデルの開発

運用面でカバー

- ・画像調達にて観測条件が類似する画像を選定
- ・机上確認にて明らかな誤判読を修正

【事業化】安価な調達コストを考慮した運用方法の検討

- 航空写真と衛星画像のハイブリッド活用
- 対象エリアの優先度に応じて多種類の衛星画像を併用
- サブスクリプションなどのサービス形態を利用